

平成18年11月16日

コミュニティバス評価委員 各位

### 第3回 コミュニティバス評価委員会の開催について

晩秋の候、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また日頃より道路交通行政にご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて先日開催しました「第2回コミュニティバス評価委員会」におきましては、4つのテーマ及びアンケート調査票案について委員各位より活発なご発言をいただき、とても有意義な会議となったものと考えております。

なお、下記のとおり開催する第3回の評価委員会では、アンケート調査票の内容に基づき、提言書づくりに向けた検討を進めてまいりますので、活発なご議論をお願いするとともに、委員各位におかれましては、公私ともにご多忙のことと思われまますがご参集いただきますよう重ねてお願いいたします。

#### 記

1. 日時 平成18年11月24日(金) 午後6時より2時間程度を予定
2. 場所 市川市役所 本庁舎3階 第5委員会室

当日は、同封した委員会資料で検討を進めますので、ご持参ください。  
第2回評価委員会の会議録が収録されていますのでご査収ください。

市担当：市川市道路交通部 交通計画課

あずまや よねさき  
東谷・米崎 047-334-1453(直通)

コンサルタント：株式会社 国際開発コンサルタンツ

交通計画グループ

おさもと せき  
尾座元・関 03-3555-1711

# 平成 18 年度市川市コミュニティバス見直し検討調査

## 【第 3 回評価委員会・議事次第】

日 時：平成 18 年 11 月 24 日（金） 午後 6 時より

場 所：市川市役所 本庁舎 3 階 第 5 委員会室

- 1．開 会
- 2．部長挨拶
- 3．報告・確認事項
  - (1) 第 2 回評価委員会議事録について 【資料 2】
  - (2) アンケート調査と OD 調査について 【資料 3】
- 4．議 事
  - (1) コミュニティバス利用者について 【資料 4】
  - (2) アンケート調査票を通じた討議について【資料 5】
  - (3) その他（次回日程調整）
- 5．議論の総括
- 6．その他
- 7．閉 会

### 【本資料の構成】

資料 1：評価委員会委員名簿	1 頁
資料 2：第 2 回評価委員会議事録	2～15 頁
資料 3：アンケート調査と OD 調査	16 頁
資料 4：コミュニティバス利用者について	17 頁
資料 5：アンケート調査票による討議資料	18～22 頁

### 【別添資料】

資料 6 - 1～5：最終的なアンケート調査依頼文と調査票一式
資料 7 - 1～2：コミュニティバスに関する新聞記事（2 枚）

## 市川市コミュニティバス評価委員会委員名簿

	氏 名	推薦母体	備 考
1	歌代 素克	自治会連合協議会推薦(沿道自治会)	委員
2	林 正幸	自治会連合協議会推薦(沿道自治会)	委員
3	熊川 芳男	自治会連合協議会推薦(沿道自治会)	委員
4	江間 實	自治会連合協議会推薦(沿道自治会)	委員
5	篠田 實	自治会連合協議会推薦(沿道自治会)	委員
6	石渡 彰	自治会連合協議会推薦(沿道外自治会)	委員
7	相川 恒平	商店会連合会推薦	委員
8	稲垣 操	商店会連合会推薦	委員
9	南雲 勝利	商工会議所推薦	委員
10	近藤 静正	商工会議所推薦	委員
11	坂本 邦宏	埼玉大学大学院工学博士	アドバイザー

事務局：市川市道路交通部交通計画課  
コーディネーター：(株)国際開発コンサルタンツ

第 2 回 コミュニティバス評価委員会 議事録（案）

日時 平成 18 年 11 月 1 日（水）

18：00～20：30

場所 市川市役所 本庁舎 3 階 第 6 委員会室

出席者（順不同・敬称略）

【評価委員】

歌代 素克（自治会連合協議会）

林 正幸（自治会連合協議会）

江間 實（自治会連合協議会）

篠田 實（自治会連合協議会）

石渡 彰（自治会連合協議会）

稲垣 操（商店会連合会）

南雲 勝利（商工会議所）

近藤 静正（商工会議所）

（欠席者）

熊川 芳男（自治会連合協議会）

相川 恒平（商店会連合会）

【アドバイザー】

坂本 邦宏（埼玉大学大学院 工学博士）

【事務局】

市川市道路交通部交通計画課

【コーディネーター】

株式会社国際開発コンサルタンツ

## 議事次第

1. 開会（交通計画課長）
  2. 報告・確認事項（コーディネーター）
    - (1) 第1回評価委員会議事録について
  5. 議事（コーディネーター）
    - (1) 主な検討テーマについて
    - (2) アンケート調査について
    - (3) その他（次回日程調整）
  6. 議論の総括（アドバイザー）
  7. その他
  8. 閉会
- 

## 議事内容

1. 開会  
交通計画課長より
2. 報告・確認事項  
コーディネーターより、第1回議事録の確認  
・第1回議事録について、内容が了承された。  
・委員氏名は記載することとなった。
3. 議事・質疑応答  
コーディネーターより資料説明

### (1) 主な検討テーマについて

#### 【稲垣委員】

どのようにコミュニティバスを検討したのか。

#### 【事務局】

議会や市民からの要望が以前からあった。浦安市や他都市でも行われている。市の上位計画でも路線バス以外の公共交通が必要だといわれている中で、昨年度から実験を開始した。運行計画についてはアンケート調査等で市民の意向を取り入れている。

#### 【稲垣委員】

住民からは、実験かどうか分からないという声がある。利用している人が少なく、元々赤字となることは分かっている中で、市はどのくらいの予算を考えているのか住民から聞かれているので、それを知りたい。

#### 【事務局】

いくらまで許容できるのか、市でも決めなければいけないと考えている。利用している人としていない人では意見は違うので、予算額は厳密には決められないが、現在の赤字額が妥当かどうかは本委員会やアンケート調査で検討していただきたい。

#### 【稲垣委員】

コミュニティバスに賛成というのであれば、委員としてそれなりの責任を持たなければいけないと考えている。

#### 【歌代委員】

第 1 回委員会でもそのような意見が出ており、これから段階的に議論しようということになった。

#### 【稲垣議員】

浦安市のコミュニティバスにも乗ったことはある。市川の場合はあまり人の住んでいないところも走っているが、利用している人はいる。

#### 【コーディネーター】

コーディネーターより、検討テーマ 1 ~ 4 を説明

- ・テーマ 1 は、人口密度の低い特定の地域を対象にコミュニティバスを走らせることについてどう考えるか。また、運行計画の見直しにより便数の増便の割合以上に利用者が増えたが、なお市が財政補填をしている状況にある。そのときの評価について、単なる事業採算性で行うのか、それとも別の項目を含めて評価するのかご意見をいただきたい。
- ・テーマ 2 は、利用者の料金格差についてである。現在は実験であり、なるべく多くの人に利用してもらうために 100 ~ 150 円に設定しているが、本格導入した場合には同じ距離を移動するのに路線バスと料金格差が生じる。このことについて、財政補填の有無とは別に議論していただきたい。
- ・テーマ 3 は、継続運行の取り組みについてである。1 点は PR 活動であり、リーフレットの配布等を行った結果、沿道住民の認知度は 83%であった。これは他都市と比較しても高く、市が努力した結果であると考えている。しかし、利用率は 12%程度であり、さらに利用を促進するにはコミバスを「市民

の足」として育てていくという機運を高めることが必要である。運営体制については、京都では市民自らが活動している。横浜でも、現在赤字となっているが、市民が行政やバス会社と協働して取り組んでいる。これは、市川市がこれから議論しようとしていることに近い。このまま行政主導でよいのか、市民や商工業者と一体となって進めていくべきかを議論していただきたい。

- ・テーマ4は、コミュニティバスの社会的効果の把握についてである。これが分かれば税金を投入することを市民に説明することができる。議会でも取り上げられている。社会的効果の例としては、利用者の移動しやすさ（時間短縮）効果、混雑緩和による自動車での移動短縮効果、駅前放置自転車減少に伴う管理費削減効果、医療費の削減効果、新たな市民活動に伴う増収効果、等が挙げられる。このような社会的効果の費用分まで税金を投入してよいか否かを議論していただきたい。
- ・これらの事例を元に、テーマ1～4までを自由に議論していただきたい。

#### 【近藤委員】

実際に北東部ルートに乗ってみたが、利用者は続けて欲しいと考えている。料金格差は厳しい。大町の自宅からバス停まで500mくらい歩き、大野中央病院や大柏出張所まで利用している人がいる。このような人たちは、高齢者であり、バス停まで歩けない。本日乗ってみたが、10人位利用していた。一度京成バスを乗り継いで、利用している。コミバスは是非続けていただきたい。地元の人たちが公民館等を利用できれば、高齢化社会となった今、財政は厳しいが地域の人のためになるという機運が生まれる。大野中央病院を3日に1回利用している人もいる。

#### 【コーディネーター】

大野中央病院は路線バスに向いてないので、環状ルートでカバーするように考えられて設定された。

#### 【近藤委員】

柏井の人が市川大野駅に行くのに環状ルートを利用している。昨年までは、1時間待たねばならなかったが、今年度は解消された。しかし、変わったことを知っている人は少ない。既存路線バスとの乗り継ぎ券ができれば非常に便利である。赤字だからだめではなく、高齢化対策としてでも続けるべきである。

#### 【コーディネーター】

本格運行する場合には路線バスとの乗り継ぎの問題が生じる。乗り継ぎがしやすくすることは可能であると思う。利用者の方にヒアリングまでしていただ

きありがたい。

【南雲委員】

私は利用したことはないが、利用している人に聞いたがもう乗らないといていた。高齢者は、バスに乗るのにも時間がかかるからである。利用者は少ないし、利用しない人や若い方からしてみれば反対だと思う。

【歌代委員】

福祉バスという傾向が強くなっていくのではないか。

【近藤委員】

今のコミュニティバスは福祉バスと区別できない。高齢者のためだけではないか。

【稲垣委員】

私が試しに乗ったときは誰も乗っていなかった。

【歌代委員】

いくら増えたら経費としてどのくらいになるか試算しているのか。

【コーディネーター】

単純に利用者が倍になれば、収支が取れるということになる。

【稲垣委員】

どんどん路線を増やせば乗る人は増えるが、採算が取れるかが問題である。

【コーディネーター】

昨年利用者アンケート調査では、一番多いのは平休日とも 30 歳代である。高齢者が多いのという実態とは少し違う。

【近藤委員】

高齢者は乗り継ぎ等があると乗りたくても乗れない。

【コーディネーター】

実験における利用実態では、30 歳代の割合は平日 22%、休日 32%、60 歳代は平日 18%、休日 12%、70 歳代は平日 15%、休日 4%となっている。1 時間に 1 本程度ではあるが、時間にゆとりのある高齢者だけが利用しているわけではなく、30 歳代の女性がメインとなっている。

【林委員】

高齢者は駅や病院、金融機関の利用がメインとなっている中、福祉の問題と



は切っても切れない。

【コーディネーター】

市川市の路線バスは、需要の多い駅に向かって放射状に設定している。環状方向は需要が低いので、路線バスはない。大野中央病院は縦方向からはアクセスできるが、横方向からは行けない。市としては、民間バスができない横方向の動きを担おうとしたというのが基本的な考え方である。浦安市川市民病院へも乗り継がないと行けない。バス会社としての理屈と住民の望む利用の仕方としてはギャップがある。福祉の考え方もあるが、縦方向を横方向に結んで、不特定多数の全ての人を対象とするのがコンセプトである。

【林委員】

高齢者より 30 歳代が多いのは、本当かなと疑問に感じる。

【歌代委員】

今回のアンケートで判断すればよいと思う。

【江間委員】

「市川市東北部交通不便地区の交通問題を考える会」では、コミュニティバスにおける柏井町の地域の動きに関する要望を出している。買い物に行くのに坂が多いからバスを使いたいという声もある。時刻表の文字も小さい。拡大して配布したら利用者が増えた。他にも N P O 等で活動している団体もある。

【歌代委員】

アンケート結果では、大型店舗に行く利用者が多い。テーマ 3 の京都や横浜と市川市と比較するのは無理である。協働体制についても地元の市民には何のメリットもない。

【稲垣委員】

商業代表としての意見であるが、本八幡周辺に店舗があるのに何でコルトンプラザまで無料バスを通していいのか。昼間の女性は買い物がメインである。地元の商店会は協賛制度には賛成できない。N P O の 1 % 制度を利用して、バスの通っている地域の人が協賛すべきである。協賛は大型店舗しか協力できない。

【石渡委員】

現在のコミュニティバスは京成バスが通ってないところを通っている。現在コミュニティバスは通っていないが、路線バスでもバス停まで 500m 位歩いてい

るので仕方がない。福祉バスで走らせるのなら、市全体を回らないと不公平である。

【コーディネーター】

目的が変われば計画も変わる。

【石渡委員】

団地までコミュニティバスを回せというのは無理がある。

【コーディネーター】

要望を聞きすぎてルートが長くなり、大きく迂回した結果、時間がかかりすぎるために逆に利用しづらくなった例もある。

【篠田委員】

バスは通っていないが、利用者が多くなるためには便数が多く、朝病院に行く時間帯にないといけない。自転車からの転換はほとんどないと思う。田尻の工業地帯は送迎バスがあり、コミュニティバスは利用されない。やめたら大騒ぎになるが、やめるなら実験でやめるしかない。協賛についてもすでにいくつかの募金があるので、賛成できない。

【歌代委員】

利用促進をやる以外に方法はない。その結果で今後を検討するべきである。実験を始めた動機や 100 円という料金設定も不明である。

【稲垣委員】

市民の要望があったからといって始めたのだが、計画が甘かったのではないか。利用促進のためには時刻表の工夫などをすべきである。

【篠田委員】

バスを増便するしかないが、利用者がこれ以上増えるかは分からない。計画の段階で、他都市の事例を調べているのか。

【歌代委員】

コミュニティバスを走らせている市民団体を視察するのがよい。

【林委員】

空バスを見ているのに、募金しようという人はいないと思う。

p.31 の北東部の費用対効果の表で、料金を 200 円にしてさらに利用者を 1 割増やせば赤字率が 20% くらいになる。そのためには高齢者が多くすんでいる大

町などに走らせればよい。

【コーディネーター】

利用者数が変わらないという前提であると思う。

【林委員】

このまま止めてしまうと、利用者からの反対の声があり、マイナスのイメージが強い。

【稲垣委員】

今のコミュニティバスが実験だと認識している人はいない。利用者が少なかったらこのまま実験が終了してしまうといった周知が必要である。どのくらいの赤字ならよいのかを知りたいし、社会的な効果を証明することも必要である。

【コーディネーター】

北東部では 200 円でもよいという意見でもあるが、料金の格差について議論いただきたい。料金の格差はないほうがよいか。

【石渡委員】

路線バスと同じでよいと思う。

【稲垣委員】

利用している人は 200 円までなら利用するというアンケート結果が出ていたはずである。

【コーディネーター】

赤字だから料金を上げるのか、それとも市民の立場として、元々同じ距離を移動するのに格差があるということについてはどうか。

【林委員】

北東部では、市川大野駅から大町まで 200 円くらいなので、コミュニティバスも 200 円くらいが妥当ではないか。

【コーディネーター】

北東部では 150 円だが、南部では 100 円で路線バスの半分であるが、どう感じるか。

【近藤委員】

路線バスとコミュニティバスの経営状態に差があるのか。コミュニティバスは路線バスが走れないところまで来てくれるというメリットがあるのだから、路線バスと同じ料金でよいと思うが、150 円で実験をしているのに本格運行では 200 円だといったら抵抗はあると思う。

【コーディネーター】

考え方の視点として、経営状態は別にして欲しい。同じ市民が同じ空間を移動するのに料金の差が生じることについてはいかがか。

【石渡委員】

路線バスが通れないところに通るのだから、それだけで恩恵があるので、同じほうがよい。

【歌代委員】

料金を値上げしたら利用者が少なくなり、それで中止になったというのでは問題であるので、慎重に検討しないといけない。

【コーディネーター】

料金が路線バス並みになっても利用するかどうかをアンケートで確認した方がよいか。

【林委員】

北東部なら料金は200円というようにはっきり提示した方がよい。

【コーディネーター】

テーマ3の運行支援についてはどうか。

【歌代委員】

市川市は京都や横浜とは地域性が違う。

【コーディネーター】

ここでいう協賛制度は個人を対象としているが、アンケートで聞くのはどうか。

【歌代委員】

個人が対象であるのなら、聞いた方がよい。

【コーディネーター】

テーマ4の社会的効果が試算できたらそれに財源を投入するという考え方についてはどうか。

【稲垣委員】

社会的効果を数字で示すのは難しいが、試算できるのなら賛成である。ただ、健康のために逆に自転車を使うべきだという人もいるので、評価項目はよく検討すべきである。

【コーディネーター】

昨年度でも自転車転換の検証をしたが、あまり出てこなかった。今年度の結果で再度議論したい。

【篠田委員】

料金を値上げすることについて、制度的に抵抗はないのか。今のような狭いルートで路線の許可が取れているのか。

【コーディネーター】

路線としてきちんと許可を取っている。

【事務局】

料金の値上げについては、上限の範囲内までなら可能である。

【コーディネーター】

テーマ1～4までの議論の結果は以下のとおり

テーマ1：単なる事業採算性ではなく、社会的効果を入れて評価する。

テーマ2：料金格差はなくす方向で考える。

テーマ3：利用促進が基本で、協賛制度は個人を対象として確認する。

テーマ4：社会的効果に対する税金投入の妥当性は数値的に試算できれば望ましい。

(2) アンケート調査について

コーディネーターより、アンケート調査について説明

- ・コミュニティバス利用者、沿道住民、沿道外の全市という3つを対象とし、各母体1,000人に配布する。
- ・アンケート調査票は、1ページ目はそれぞれの対象母体で異なるが、2ページ目以降は同じ内容となっている。
- ・本日議論していただいたテーマ1～4の内容を市民に聞く。
- ・実際にアンケートを回答していただき、設問の内容や表現についてご意見を伺いたい。
- ・アンケート回答分担は以下のとおり。

【1.利用者】 歌代委員、林委員、近藤委員

【2.沿道】 江間委員、稲垣委員、南雲委員

【3.沿道外】 篠田委員、石渡委員、坂本アドバイザー

【稲垣委員】

対象者の抽出方法はどのように行うのか。

【事務局】

コンピュータによる無作為抽出である。

**【篠田委員】**

運転手の時間はどのように定められているのか。

**【事務局】**

一定の休憩時間をとるように指導されている。

現行では、北東部では3台、南部では4台の車両で回っており、運転手が交代しながら運行している。仮に増便しようということになると車両だけでなく運転手の人員も増えることになる。

**【江間委員】**

病院に行く人は朝早く出るので、利用者の意向を考慮して運行ダイヤを組んで欲しい。

**【南雲委員】**

コミュニティバスの需要が増えて採算が取れたらどうなるのか。

**【コーディネーター】**

運営を行政から民間へ移譲することも十分に考えられる。

**【南雲委員】**

その場合、陸運局は許可するのか。

**【コーディネーター】**

実験ルートは陸運局より許可を受けている。元々コミュニティバスという定義はなく、通常の路線バスと同様の扱いである。市の財源を投入し、料金が安価なため、路線バスと競合しないようにルートが配置されるので、結果として、駅に入らないといったルートはなってしまう。

**【コーディネーター】**

アンケート調査票についてご意見を伺いたい。

**【歌代委員】**

p.3 の説明部分を全てなくして欲しい。京都や横浜の説明はこれだけではよく分からないので、市川市と比較のしようがない。

**【林委員】**

70 歳代の立場としては、難しいところがある。回収率が低いのは、途中で嫌になってしまうから。「料金の格差」という言葉も難しく、なるべく易しいほう

がよい。

**【江間委員】**

p.2 の設問の選択肢の文字フォントが小さい。

**【篠田委員】**

資料6 - 3（沿道外）はこれでよい。

**【林委員】**

北東部、南部という言葉ではよく分からない。

**【コーディネーター】**

配布時には時刻表も同封する。

**【稲垣委員】**

70 歳代の立場としてはこれでよいが、京都や横浜の事例は本日議論したから理解はできるが、ないほうがよい。

**【南雲委員】**

60 歳代の立場としては、なるべく分かりやすく、簡潔にして欲しい。そうしないと回答者は途中でやめてしまう。

**【近藤委員】**

京都や横浜の事例はないほうがよい。「間接的效果」や「事業採算性」という言葉はよく分からない。赤字が年間 6 千万円と言われたらやめた方がよいと言われる。

**【稲垣委員】**

年齢別に一定の割合で抽出するのか。

**【事務局】**

対象年齢は 15 歳以上を無作為に抽出する。

**【近藤委員】**

「運行経費と料金収入を比較した事業採算性」と言われて分かるのか。これでは答えられない。

**【篠田委員】**

年齢を聞いた方がよい。

**【事務局】**

年齢は設問の最後で聞く。

**【江間委員】**

京都や横浜の事例をなくすと、問9の設問が聞けなくなるのではないか。

**【コーディネーター】**

京都や横浜という言葉ははずした方がよいか。

**【アドバイザー】**

京都や横浜の事例をはずしてしまったら、問9の選択肢の2や3のような取り組みが信じられないと言う人がいて夢物語に終わってしまうので、全国のどこかの地域で実際に行われていることをきちんと紹介した方がよいのではないか。

**【篠田委員】**

京都の事例はバスが廃止になったことが契機となっており、市川市はそうではない。

**【コーディネーター】**

市川市でも、路線バスが撤退する可能性はあり得る。

**【アドバイザー】**

京都とはっきり示さなくてもよいが、他都市の事例として紹介すべきである。

**【石渡委員】**

p.3で横浜の事例は検討している段階であるのに、問9の選択肢で横浜の事例を紹介してよいのか。

**【コーディネーター】**

ここではあくまでも考え方の例示として意向があるかを確認しようとしている。

**(3) 次回の日程について**

- ・第2回評価委員会は11/24(金)18:00~20:00とする。
- ・場所は市役所本庁舎を予定(詳細は別途連絡)



#### 4．議論の総括

アドバイザーより

今回の議論でテーマの方向性が見えてきたのでよかった。アンケートについても詳細まで詰めることができた。1点質問だが、アンケートではテーマ5・6は確認しないのか。せっかくの機会なので、テーマ5については是非アンケートに取り込むべきだと思ったので、検討していただきたい。今後は、アンケートで集められた1,000人の意見の集計を元に検討していただきたい。そうすれば、他の方から見ても本評価委員会の役割が良いものになると思う。

#### 6．閉会

【歌代委員】

熱心に議論していただきありがたい。引き続き、今後もお願いしたい。

以 上

## アンケート調査とOD調査について

- ・平成 18 年 11 月 15 日（水）と 11 月 19 日（日）に OD 調査を実施し、同時にコミュニティバス利用者アンケート調査票を配布しました。
- ・平成 18 年 11 月 20 日（月）に、ルート沿道市民とルート沿道以外の市民へのアンケート調査を配布しました。

## アンケート調査

区 分	実施時期	対 象	備 考
コミバス利用者アンケート調査	H.18.11.15(水) H.18.11.19(日) 配布：手渡し )OD調査と同時 に実施 回収：郵送方式	コミュニティバス 利用者 1,000 人 想定回収率 30% 想定回収数 300 人	内容は資料 6-1~4 を参照
ルート沿道市民アンケート調査	11.20：郵送発送 12.05：郵送回収	沿道 1,000 人 想定回収率 30% 想定回収数 300 人	”
ルート沿道以外市民アンケート調査	11.20：郵送発送 12.05：郵送回収	沿道以外 1,000 人 想定回収率 30% 想定回収数 300 人	”
共 通	H.18.12 月 データ確認・集計 H.19.1 月 とりまとめ	上記合計 対象 3,000 人 想定回収数 900 人	

## OD調査の内容

区 分	実施時期	ル ー ト	内 容
OD調査	平成 18 年 11 月 平日・休日の 2 日間 H.18.11.15(水) H.18.11.19(日)	北東部ルート 南部ルート	バス停ごとの乗降状況 乗車人員の属性把握 コミュニティバス利用者アンケート 調査配布 1) 郵送回収。 バス停での到着時刻・出発時刻の記録 2) バス停での停止時間を求め、コ ミバスで走行しなかった場合の走 行時間を算出する。

## コミュニティバス利用者について

- 平成 17 年 11 月 6 日（日）と 11 月 10 日（木）の 2 日間で「利用者アンケート調査」を実施しています。
- 実際に調査員がバスに乗り込んで、利用者全員に聞き取り調査を実施しています。（郵送によるアンケート回収ではなく、基本的に利用者全員の状況です。）
- この結果、『全体的に男性よりも女性の占める割合が高く、30 歳代の占める割合が高い』ことが把握されています。
- 北東部と南部を比較した場合、北東部では高齢者の割合が高くなっています。

## 【属性：性別（単一回答）】

		全体	割合	北東部	割合	南部	割合
平日	男性	77	18.4%	36	30.8%	41	13.6%
	女性	248	<b>59.2%</b>	79	<b>67.5%</b>	169	<b>56.0%</b>
	不明	94	22.4%	2	1.7%	92	30.4%
	計	419	100.0%	117	100.0%	302	100.0%
休日	男性	107	28.2%	24	30.4%	83	27.7%
	女性	217	<b>57.3%</b>	54	<b>68.3%</b>	163	<b>54.3%</b>
	不明	55	14.5%	1	1.3%	54	18.0%
	計	379	100.0%	79	100.0%	300	100.0%

## 【属性：年代（単一回答）】

		全体	割合	北東部	割合	南部	割合
平日	9 歳まで	1	0.2%	0	0.0%	1	0.3%
	10 歳代	2	0.5%	0	0.0%	2	0.7%
	20 歳代	53	12.6%	6	5.1%	47	15.6%
	30 歳代	92	<b>22.0%</b>	16	13.7%	76	<b>25.2%</b>
	40 歳代	44	10.5%	12	10.3%	32	10.6%
	50 歳代	62	14.8%	22	18.8%	40	13.2%
	60 歳代	76	18.1%	25	<b>21.4%</b>	51	16.9%
	70 歳代	64	15.3%	26	<b>22.2%</b>	38	12.6%
	80 歳以上	17	4.1%	6	5.1%	11	3.6%
	不明	8	1.9%	4	3.4%	4	1.3%
計	419	100.0%	117	100.0%	302	100.0%	
休日	9 歳まで	1	0.3%	0	0.0%	1	0.3%
	10 歳代	22	5.8%	1	1.3%	21	7.0%
	20 歳代	50	13.2%	7	8.9%	43	14.3%
	30 歳代	121	<b>31.9%</b>	14	17.7%	107	<b>35.7%</b>
	40 歳代	63	16.6%	12	15.2%	51	17.0%
	50 歳代	54	14.2%	17	<b>21.5%</b>	37	12.3%
	60 歳代	45	11.9%	19	<b>24.1%</b>	26	8.7%
	70 歳代	15	4.0%	6	7.6%	9	3.0%
	80 歳以上	4	1.1%	2	2.5%	2	0.7%
	不明	4	1.1%	1	1.3%	3	1.0%
計	379	100.0%	79	100.0%	300	100.0%	

## アンケート調査票を通じた討議について

- ・ 最終的なアンケート調査依頼文と調査票一式を別紙に示します。
- ・ 第3回委員会では、皆さんに『調査票の共通部分である2～4頁の設問』に答えて頂きながら、自由な議論をして頂きたいと思います。
- ・ この議論を通じて、提言書作成に向けたイメージ作りをします。



市内には、道路が狭い、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことができない交通空白・不便地域があります。

市は、交通空白・不便地域の解消に効果のあるコミュニティバスを、北東部と南部の2ルートで実験運行しています。



問4．市内において、一部の交通空白・不便地区を対象としてコミュニティバスを運行することをどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

- 1．公共交通がない、または不便な地区において市民の足を確保するには必要である
- 2．一部の地区を対象とすることは不公平である
- 3．分からない
- 4．その他( )

## MEMO



今年の7月に運行計画を見直したことで利用者が増えました。運行開始からこれまでに約30万人の方が利用されています。

18年度の運行に必要な経費は約1億円ですが、運賃収入は約4千万円、年間で約6千万円の赤字(税金投入)になると予測されます。



問5．コミュニティバスの運行に税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

- 1．税金を投入してもよい
- 2．利用者の料金で賄うべきである【問7へ】
- 3．分からない
- 4．その他( )

## MEMO



利用者1人にかかる  
運行経費は275円～  
340円で、市は約6割  
を負担しています。

約6千万円の税金投入は、20歳以上の市民  
が1人当たり年間160円を負担していること  
になります。他の地区で運行する場合も同じ  
程度の負担が必要になると考えられます。



問6 .20歳以上の市民1人当たりの年間負担額は、どの程度までが適切とお考えですか。  
1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 100 円未満 2 . 100 円程度 3 . 200 円程度 4 . 300 円程度 5 . 500 円以上  
6 . 市全体の財政バランスの問題なので、市が判断すべきである  
7 . その他( )

### MEMO



コミュニティバスの料  
金は、北東部は150  
円、南部は100円と  
なっています。

同じ距離を路線バスで移動すると160円～3  
50円で、コミュニティバスと路線バスの間に  
料金の差があります。昨年11月のアンケート  
調査では「継続運行のためには値上げしても  
やむを得ない」が56%となっています。



問7 .“コミュニティバスと路線バスの利用者で料金の差があること”についてどのよう  
にお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 料金に差があってもよい 2 . 同じ料金とすべきである  
3 . 分からない 4 . その他( )

### MEMO

問 8 . コミュニティバスの料金を路線バス並みの料金に値上げすることについて、どのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 . よい    | 2 . よくない   |
| 3 . 分からない | 4 . その他( ) |

MEMO

問 9 . コミュニティバスの料金を以下のように値上げした場合、コミュニティバスを利用しますか。ケースごとに をつけて下さい。

ケース		北東部ルート (現在 150 円)	南部ルート (現在 100 円)
ケース 1	150 円	/	1 . 利用する 2 . 利用しない
ケース 2	200 円	1 . 利用する 2 . 利用しない	1 . 利用する 2 . 利用しない
ケース 3	路線バスと同様 (対キロ運賃)	1 . 利用する 2 . 利用しない	1 . 利用する 2 . 利用しない

MEMO



平成18年度の運行では、年間で約6千万円の税金投入が必要と予測されています。これをどのように考えるかがポイントです。

市では、コミュニティバスを運行することで、車からの乗り換えによる「混雑緩和の効果」や、新たに外出する機会が増えることによる「経済的な効果」などの様々な効果があると考えており、その効果をお金に換算することを検討しています。



問10. 「混雑緩和の効果」や「経済的な効果」などをお金に換算し、その金額に相当する税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. よい                      2. よくない  
3. 分からない            4. その他(                      )

MEMO



近年、路線バスが撤退する事例が多くなっており、市民の足をどのようにして確保するかが大きな課題となっています。  
市川市コミュニティバスの利用を促進し、継続して運行するには、市民や商工業者がバックアップしていく取り組みも必要と考えられま

他市では、市民自らが組織を立ち上げて、商工業者やバス会社の協力を得てコミュニティバスを導入したり、実験運行を通じて、市民、行政、バス会社との新たな協働を検討している事例もあります。



問11. どのような“コミュニティバスの運営体制”が望ましいとお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. これまでのように行政が主体となった運営  
2. 地元の住民が主体となった運営  
3. 地元の住民、行政、バス会社の協働による運営  
4. 分からない            5. その他(                      )

MEMO

問 12 . コミュニティバスの運行への協力についてお聞きします。

( 1 ) あなたはコミュニティバスの運行への協力ができますか。できるとすれば、その内容にいくつでも をつけて下さい。

1 . 協力する

2 . 協力しない【 問 13 へ】

- a . コミュニティバスを積極的に利用することで協力したい
- b . 協賛金制度があれば、協力したい
- c . コミュニティバスの普及に協力したい ( 知人への紹介など )
- d . ボランティア活動に協力したい ( イベント企画、一日車掌など )
- e . その他 ( )

### MEMO

( 2 ) ( 1 ) で b に をつけた方にお聞きします。年間の 1 人当たりの金額が、どの程度であれば協力ができますか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 3,000 円未満

2 . 5,000 円程度

3 . 1 万円程度

4 . その他 ( )

### MEMO

問 13 . 市川市コミュニティバスの実験運行は平成 19 年 3 月末までの予定ですが、4 月以降どのようにすべきとお考えですか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 本格運行すべきである

2 . 実験運行として継続すべきである

3 . 運行を取り止めるべきである

4 . 分からない

5 . その他 ( )

### MEMO



(平成 18 年 11 月 24 日 (金) 第 3 回評価委員会・追加資料)

## アンケート調査票の配布結果について

- 平成 18 年 11 月 15 日 (水) と 11 月 19 日 (日) に OD 調査を実施、同時にコミュニティバス利用者アンケート調査票を配布しました。
- OD 調査は、平日「北東部 317 人、南部 659 人」、休日「北東部 177 人、南部 914 人」となりました。
- 利用者に対するアンケート調査票は、平日「北東部 200 通、南部 283 通」、休日「北東部 123 通、南部 226 通」で、合計 832 通を配布しました。

## OD調査

H18.11.24 現在

	平日(11/15)	休日(11/19)
北東部	317人	177人
南部	659人	914人
計	976人	1091人

## アンケート配布調査

	平日(11/15)	休日(11/19)	合計
北東部	200通	123通	323通
南部	283通	226通	509通
計	483通	349通	832通

- ルート沿道居住者と沿道以外居住者へのアンケート調査票は、11月18日(土)に発送し、3種類合計で2,835通となりました。

## アンケート調査

H18.11.24 現在

		配布数	未配布数	有効配布数	回収数	回収率
1. 利用者	平日	483通		483通		0.0%
	休日	349通		349通		0.0%
小計(1)		832通		832通	0通	0.0%
2. 沿道居住者	北東部	501通	4通	497通		0.0%
	南部	502通	4通	498通		0.0%
小計(2)		1003通	8通	995通	0通	0.0%
3. 沿道外居住者		1000通	15通	985通		0.0%
小計(3)		1000通	15通	985通	0通	0.0%
計		2835通	23通	2812通	0通	0.0%

## コミュニティバスに関するアンケート調査のお願い

市川市は、交通空白・不便地域の解消、公共公益施設等への利便性の向上を主目的としたコミュニティバスの本格的な導入を検討しています。しかしながらバスを運行する効果は実際に運行してみなければわからない事が多い事から、昨年10月から市の北東部及び南部において社会実験によるコミュニティバスの運行を開始しました。

このアンケートは、市川市がコミュニティバスを運行したことに対する皆様のご意見を調査し、今後コミュニティバスを本格的に導入するのか、それとも導入を取りやめるのかを検討する基礎資料とするために実施するものです。なお、立場の違う意見をお聞きするために、3種類のアンケートを同時に実施しています。皆様のご意見を反映させるためにアンケート調査にご協力をお願いいたします。

平成18年11月 市川市長 千葉 光行



### 【利用者アンケート】

コミュニティバスに乗車している方を対象に実施。

(対象：平・休日で1,000人 車内配布、郵送回収方式)

### 【沿道居住者アンケート】

ルート沿線にお住いの方を対象に実施。

(対象：1,000人(15歳以上) 郵送方式)

注)【利用者アンケート】への回答をお願いした方は【沿道居住者アンケート】が郵送されても【利用者アンケート】のみにお答え頂くようお願いいたします。

### 【ルート沿線以外の居住者アンケート】

運行ルートから離れた日常的に利用することが難しい方を対象に実施。

(対象：1,000人(15歳以上) 郵送方式)

※ 郵送アンケートは住民登録より無作為抽出

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れ、平成18年12月5日(火)までにご投函ください。(返信用封筒に切手は不要です)

なお、ご不明の点がございましたら下記までご連絡下さい。

担当：市川市 道路交通部 交通計画課 東谷・米崎

047-334-1453 (直通)

※ このアンケート調査は無記名であり、ご回答の内容は統計的に処理をしますので、ご回答くださった方にご迷惑をおかけすることはありません。

## 市川市コミュニティバスに関するアンケート調査 【コミュニティバス利用者用(平日)】

問1.最初に“コミュニティバスの利用と代替交通手段”について、お聞きします。

(1)どの程度利用していますか。平日と休日に区分して、1つだけをつけて下さい。

平日は? (月～金)	1.ほぼ毎日	2.週に2～4回	3.週に1回	4.月に2～3回
	5.月に1回	6.雨天時のみ利用	7.平日は利用していない	
休日は? (土・日)	1.月に6回以上	2.月に4～5回	3.月に2～3回	
	4.月に1回	5.雨天時のみ利用	6.休日は利用していない	

(2)コミュニティバスが運行されていない場合に利用する交通手段を、主なもの1つだけをつけ、バイク・原付、自転車を利用する場合には駐輪場所を記入して下さい。

平日は? (月～金)	1.電車 2.路線バス 3.タクシー 4.車を自分で運転 5.車で送迎 6.バイク・原付 7.自転車 8.徒歩 9.平日は利用していない バイク・原付、自転車の駐輪場所は? a.駅周辺の駐輪場(駅の名称: ) b.駅周辺以外
休日は? (土・日)	1.電車 2.路線バス 3.タクシー 4.車を自分で運転 5.車で送迎 6.バイク・原付 7.自転車 8.徒歩 9.休日は利用していない バイク・原付、自転車の駐輪場所は? a.駅周辺の駐輪場(駅の名称: ) b.駅周辺以外

問2.自宅から主な目的地までの所要時間と運賃を記入して下さい。(コミュニティバスを利用しない場合の運賃は、電車、路線バス、タクシーを利用する場合のみで結構です。)

平日は? (月～金)	1.平日に利用している 2.平日は利用していない コミュニティバスを利用した場合は?(所要時間: 分、運賃 円) " を利用しない場合は?(所要時間: 分、運賃 円)
休日は? (土・日)	1.休日に利用している 2.休日は利用していない コミュニティバスを利用した場合は?(所要時間: 分、運賃 円) " を利用しない場合は?(所要時間: 分、運賃 円)

問3.“コミュニティバス利用による外出の変化”についてお聞きします。

市川市内において以下に示す活動内容の外出頻度は増えましたか。「1.はい」の場合には、1ヶ月間で増えた回数と、消費金額などをご記入下さい。

市川市内での活動内容	外出頻度は増えた?	1ヶ月間で増えた回数	消費金額など
買物は?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	1回当たりの買物・飲食の金額 (約 円)
通院は?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	
公共施設利用は?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	
習い事は?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	1ヶ月の月謝 (約 円)
レジャーは?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	( )人で、1回当たりの全体の消費金額(約 円)
スポーツは?	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	( )人で、1回当たりの全体の消費金額(約 円)
その他【具体的に】 ( )	1.はい ● 2.いいえ	約 ( 回)	( )人で、1回当たりの全体の消費金額(約 円)

【「1.はい」の場合には、右にお進み下さい】



市内には、道路が狭い、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことができない交通空白・不便地域があります。



市は、交通空白・不便地域の解消に効果のあるコミュニティバスを、北東部と南部の2ルートで実験運行しています。

問4 . 市内において、一部の交通空白・不便地区を対象としてコミュニティバスを運行することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 公共交通がない、または不便な地区において市民の足を確保するには必要である
- 2 . 一部の地区を対象とすることは不公平である
- 3 . 分からない
- 4 . その他 ( )



今年の7月に運行計画を見直したことで利用者が増えました。運行開始からこれまでに約30万人の方が利用されています。



18年度の運行に必要な経費は約1億円ですが、運賃収入は約4千万円、年間で約6千万円の赤字(税金投入)になると予測されます。

問5 . コミュニティバスの運行に税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 税金を投入してもよい
- 2 . 利用者の料金で賄うべきである【 問7へ】
- 3 . 分からない
- 4 . その他 ( )



利用者1人にかかる運行経費は275円～340円で、市は約6割を負担しています。



約6千万円の税金投入は、20歳以上の市民が1人当たり年間160円を負担していることとなります。他の地区で運行する場合も同じ程度の負担が必要になると考えられます。

問6 . 20歳以上の市民1人当たりの年間負担額は、どの程度までが適切とお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 100円未満
- 2 . 100円程度
- 3 . 200円程度
- 4 . 300円程度
- 5 . 500円以上
- 6 . 市全体の財政バランスの問題なので、市が判断すべきである
- 7 . その他 ( )



コミュニティバスの料金は、北東部は150円、南部は100円となっています。



同じ距離を路線バスで移動すると160円～350円で、コミュニティバスと路線バスの間に料金の差があります。昨年11月のアンケート調査では「継続運行のためには値上げしてもやむを得ない」が56%となっています。

問7 . “ コミュニティバスと路線バスの利用者で料金の差があること ”についてどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。


- 1 . 料金に差があってもよい
- 2 . 同じ料金とすべきである
- 3 . 分からない
- 4 . その他 ( )

問8. コミュニティバスの料金を路線バス並みの料金に値上げすることについて、どのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。


1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他 ( )

問9. コミュニティバスの料金を以下のように値上げした場合、コミュニティバスを利用しますか。ケースごとに をつけて下さい。

ケース		北東部ルート (現在 150 円)	南部ルート (現在 100 円)
ケース 1	150 円		1. 利用する 2. 利用しない
ケース 2	200 円	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない
ケース 3	路線バスと同様 (対キロ運賃)	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない




平成 18 年度の運行では、年間で約 6 千万円の税金投入が必要と予測されています。これをどのように考えるかがポイントです。




市では、コミュニティバスを運行することで、車からの乗り換えによる「混雑緩和の効果」や、新たに外出する機会が増えることによる「経済的な効果」などの様々な効果があると考えており、その効果をお金に換算することを検討しています。

問 10. 「混雑緩和の効果」や「経済的な効果」などをお金に換算し、その金額に相当する税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他 ( )



近年、路線バスが撤退する事例が多くなっており、市民の足をどのようにして確保するかが大きな課題となっています。  
市川市コミュニティバスの利用を促進し、継続して運行するには、市民や商工業者がバックアップしていく取り組みも必要と考えられます。



他市では、市民自らが組織を立ち上げて、商工業者やバス会社の協力を得てコミュニティバスを導入したり、実験運行を通じて、市民、行政、バス会社との新たな協働を検討している事例もあります。

問 11. どのような“コミュニティバスの運営体制”が望ましいとお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. これまでのように行政が主体となった運営
2. 地元の住民が主体となった運営
3. 地元の住民、行政、バス会社の協働による運営
4. 分からない 5. その他 ( )

問 12 . コミュニティバスの運行への協力についてお聞きします。

( 1 ) あなたはコミュニティバスの運行への協力ができますか。できるとすれば、その内容にいくつでも をつけて下さい。

1 . 協力する	2 . 協力しない【 問 13 へ】
a . コミュニティバスを積極的に利用することで協力したい b . 協賛金制度があれば、協力したい c . コミュニティバスの普及に協力したい ( 知人への紹介など ) d . ボランティア活動に協力したい ( イベント企画、一日車掌など ) e . その他 ( )	

( 2 ) ( 1 ) で b に をつけた方にお聞きします。年間の 1 人当たりの金額が、どの程度であれば協力できますか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 3,000 円未満	2 . 5,000 円程度	3 . 1 万円程度	4 . その他 ( )
---------------	---------------	------------	-------------

問 13 . 市川市コミュニティバスの実験運行は平成 19 年 3 月末までの予定ですが、4 月以降どのようにすべきとお考えですか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 本格運行すべきである	2 . 実験運行として継続すべきである	3 . 運行を取り止めるべきである	4 . 分からない	5 . その他 ( )
----------------	---------------------	-------------------	-----------	-------------

【最後に、あなたの事についてお聞きします。】

問 14 . 性別は。	1 . 男	2 . 女					
問 15 . 年齢は。	1 . 10 代	2 . 20 代	3 . 30 代	4 . 40 代	5 . 50 代	6 . 60 代	7 . 70 代 ~
問 16 . 住所は。	( 町 丁目 )						
問 17 . 就業・就学の状況は。	1 . 有職	2 . 主婦 ( パートを含む )	3 . 大学生 ( 短大生、専門学校生、予備校生を含む )	4 . 無職	5 . その他 ( )		
問 18 . 自動車の利用状況は。	1 . 自分で自由に使える自動車がある 2 . 必要に応じて家族が送迎してくれる 3 . 利用できる自動車はない						
問 19 . 自宅から最寄りのコミュニティバスのバス停は。	バス停番号または名称 ( 番号 : , 名称 )						
問 20 . そのバス停までの自宅からの距離は。	1 . 50m 以内	2 . 100m 以内	3 . 200m 以内	4 . 200m 以上			

自由意見記入欄 :
-----
-----
-----

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
 恐れ入りますが、同封の封筒に入れて、ご投函下さい。

【市川市 道路交通部 交通計画課 電話 047 334 1453 ( 直通 )】

## 市川市コミュニティバスに関するアンケート調査

### 【 1 . コミュニティバス利用者用 ( 休日 ) 】

問 1 . 最初に “ コミュニティバスの利用と代替交通手段 ” について、お聞きします。

( 1 ) どの程度利用していますか。平日と休日に区分して、1 つだけ をつけて下さい。

平日は? ( 月 ~ 金 )	1 . ほぼ毎日	2 . 週に 2 ~ 4 回	3 . 週に 1 回	4 . 月に 2 ~ 3 回
休日 ( 土 ・ 日 )	1 . 月に 6 回以上	2 . 月に 4 ~ 5 回	3 . 月に 2 ~ 3 回	4 . 月に 1 回
	5 . 雨天時のみ利用      7 . 平日は利用していない 6 . 雨天時のみ利用      6 . 休日は利用していない			

( 2 ) コミュニティバスが運行されていない場合に利用する交通手段を、主なもの 1 つだけ をつけ、バイク・原付、自転車を利用する場合には駐輪場所を記入して下さい。

平日は? ( 月 ~ 金 )	1 . 電車   2 . 路線バス   3 . タクシー   4 . 車を自分で運転   5 . 車で送迎 6 . <u>バイク・原付</u> 7 . <u>自転車</u> 8 . 徒歩   9 . 平日は利用していない バイク・原付、自転車の駐輪場所は? a . 駅周辺の駐輪場 ( 駅の名称 : _____ )    b . 駅周辺以外
休日 ( 土 ・ 日 )	1 . 電車   2 . 路線バス   3 . タクシー   4 . 車を自分で運転   5 . 車で送迎 6 . <u>バイク・原付</u> 7 . <u>自転車</u> 8 . 徒歩   9 . 休日は利用していない バイク・原付、自転車の駐輪場所は? a . 駅周辺の駐輪場 ( 駅の名称 : _____ )    b . 駅周辺以外

問 2 . 自宅から主な目的地までの所要時間と運賃を記入して下さい。( コミュニティバスを利用しない場合の運賃は、電車、路線バス、タクシーを利用する場合のみで結構です。 )

平日は? ( 月 ~ 金 )	1 . <u>平日に利用している</u> 2 . 平日は利用していない コミュニティバスを利用した場合は? ( 所要時間 : _____ 分、運賃 _____ 円 ) "                      を利用しない場合は? ( 所要時間 : _____ 分、運賃 _____ 円 )
休日 ( 土 ・ 日 )	1 . <u>休日に利用している</u> 2 . 休日は利用していない コミュニティバスを利用した場合は? ( 所要時間 : _____ 分、運賃 _____ 円 ) "                      を利用しない場合は? ( 所要時間 : _____ 分、運賃 _____ 円 )

問 3 . “ コミュニティバス利用による外出の変化 ” についてお聞きします。

市川市内において以下に示す活動内容の外出頻度は増えましたか。「 1 . はい 」 の場合には、1 ヶ月間で増えた回数と、消費金額などをご記入下さい。

市川市内での活動内容	外出頻度は増えた?		1 ヶ月間で増えた回数	消費金額など
買物は?	1 . はい ● 2 . いいえ	【 1 . はい の場合には、右にお進み下さい! 】	約 ( _____ 回 )	1 回当たりの買物・飲食の金額 ( 約 _____ 円 )
通院は?	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	
公共施設利用は?	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	
習い事は?	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	1 ヶ月の月謝 ( 約 _____ 円 )
レジャーは?	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	( _____ ) 人で、1 回当たりの全体の消費金額 ( 約 _____ 円 )
スポーツは?	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	( _____ ) 人で、1 回当たりの全体の消費金額 ( 約 _____ 円 )
その他【具体的に】 ( _____ )	1 . はい ● 2 . いいえ		約 ( _____ 回 )	( _____ ) 人で、1 回当たりの全体の消費金額 ( 約 _____ 円 )



市内には、道路が狭い、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことができない交通空白・不便地域があります。



市は、交通空白・不便地域の解消に効果のあるコミュニティバスを、北東部と南部の2ルートで実験運行しています。

問4 . 市内において、一部の交通空白・不便地区を対象としてコミュニティバスを運行することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 公共交通がない、または不便な地区において市民の足を確保するには必要である  
 2 . 一部の地区を対象とすることは不公平である  
 3 . 分からない      4 . その他 (      )



今年の7月に運行計画を見直したことで利用者が増えました。運行開始からこれまでに約30万人の方が利用されています。



18年度の運行に必要な経費は約1億円ですが、運賃収入は約4千万円、年間で約6千万円の赤字(税金投入)になると予測されます。

問5 . コミュニティバスの運行に税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 税金を投入してもよい      2 . 利用者の料金で賄うべきである【 問7へ】  
 3 . 分からない      4 . その他 (      )



利用者1人にかかる運行経費は275円～340円で、市は約6割を負担しています。



約6千万円の税金投入は、20歳以上の市民が1人当たり年間160円を負担していることとなります。他の地区で運行する場合も同じ程度の負担が必要になると考えられます。

問6 . 20歳以上の市民1人当たりの年間負担額は、どの程度までが適切とお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 100円未満    2 . 100円程度    3 . 200円程度    4 . 300円程度    5 . 500円以上  
 6 . 市全体の財政バランスの問題なので、市が判断すべきである  
 7 . その他 (      )



コミュニティバスの料金は、北東部は150円、南部は100円となっています。



同じ距離を路線バスで移動すると160円～350円で、コミュニティバスと路線バスの間に料金の差があります。昨年11月のアンケート調査では「継続運行のためには値上げしてもやむを得ない」が56%となっています。

問7 . “ コミュニティバスと路線バスの利用者で料金の差があること ” についてどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 料金に差があってもよい      2 . 同じ料金とすべきである  
 3 . 分からない      4 . その他 (      )




問8. コミュニティバスの料金を路線バス並みの料金に値上げすることについて、どのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。


1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他( )

問9. コミュニティバスの料金を以下のように値上げした場合、コミュニティバスを利用しますか。ケースごとに をつけて下さい。

ケース		北東部ルート (現在 150 円)	南部ルート (現在 100 円)
ケース1	150 円		1. 利用する 2. 利用しない
ケース2	200 円	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない
ケース3	路線バスと同様 (対キロ運賃)	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない




平成18年度の運行では、年間で約6千万円の税金投入が必要と予測されています。これをどのように考えるかがポイントです。




市では、コミュニティバスを運行することで、車からの乗り換えによる「混雑緩和の効果」や、新たに外出する機会が増えることによる「経済的な効果」などの様々な効果があると考えており、その効果をお金に換算することを検討しています。

問10. 「混雑緩和の効果」や「経済的な効果」などをお金に換算し、その金額に相当する税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他( )



近年、路線バスが撤退する事例が多くなっており、市民の足をどのようにして確保するかが大きな課題となっています。市川市コミュニティバスの利用を促進し、継続して運行するには、市民や商工業者がバックアップしていく取り組みも必要と考えられます。



他市では、市民自らが組織を立ち上げて、商工業者やバス会社の協力を得てコミュニティバスを導入したり、実験運行を通じて、市民、行政、バス会社との新たな協働を検討している事例もあります。

問11. どのような“コミュニティバスの運営体制”が望ましいとお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. これまでのように行政が主体となった運営
2. 地元の住民が主体となった運営
3. 地元の住民、行政、バス会社の協働による運営
4. 分からない 5. その他( )

問 12 . コミュニティバスの運行への協力についてお聞きします。

( 1 ) あなたはコミュニティバスの運行への協力ができますか。できるとすれば、その内容にいくつでも をつけて下さい。

1 . 協力する	2 . 協力しない【 問 13 へ】
a . コミュニティバスを積極的に利用することで協力したい b . 協賛金制度があれば、協力したい c . コミュニティバスの普及に協力したい ( 知人への紹介など ) d . ボランティア活動に協力したい ( イベント企画、一日車掌など ) e . その他 ( )	

( 2 ) ( 1 ) で b に をつけた方にお聞きします。年間の 1 人当たりの金額が、どの程度であれば協力できますか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 3,000 円未満	2 . 5,000 円程度	3 . 1 万円程度	4 . その他 ( )
---------------	---------------	------------	-------------

問 13 . 市川市コミュニティバスの実験運行は平成 19 年 3 月末までの予定ですが、4 月以降どのようにすべきとお考えですか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 本格運行すべきである	2 . 実験運行として継続すべきである	3 . 運行を取り止めるべきである	4 . 分からない	5 . その他 ( )
----------------	---------------------	-------------------	-----------	-------------

【最後に、あなたの事についてお聞きします。】

問 14 . 性別は。	1 . 男	2 . 女					
問 15 . 年齢は。	1 . 10 代	2 . 20 代	3 . 30 代	4 . 40 代	5 . 50 代	6 . 60 代	7 . 70 代 ~
問 16 . 住所は。	市内の方 ( ) 町 ( ) 丁目 ( )		市外の方 ( ) 市・町・村 ( ) 町 ( )				
問 17 . 就業・就学の状況は。	1 . 有職	2 . 主婦 ( パートを含む )	3 . 大学生 ( 短大生、専門学校生、予備校生を含む )	4 . 無職	5 . その他 ( )		
問 18 . 自動車の利用状況は。	1 . 自分で自由に使える自動車がある		2 . 必要に応じて家族が送迎してくれる		3 . 利用できる自動車はない		
問 19 . 自宅から最寄りのコミュニティバスのバス停は。	バス停番号または名称 ( 番号 : ) 名称 ( )						
問 20 . そのバス停までの自宅からの距離は。	1 . 50m 以内	2 . 100m 以内	3 . 200m 以内	4 . 200m 以上			

自由意見記入欄 :

.....

.....

.....

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
 恐れ入りますが、同封の封筒に入れて、ご投函下さい。

【市川市 道路交通部 交通計画課 電話 047 334 1453 ( 直通 )】

## 市川市コミュニティバスに関するアンケート調査 【沿道居住者用】

問 1 . コミュニティバスを利用していますか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 利用している 【 問 2 へお進み下さい】  
2 . 利用していない 【 問 3 へお進み下さい】

問 2 . “ コミュニティバスを利用している方 ” にお聞きします。

( 1 ) どの程度利用していますか。平日と休日に区分して、1つだけ をつけて下さい。

平日は？ (月～金)	1 . ほぼ毎日	2 . 週に 2 ～ 4 回	3 . 週に 1 回	4 . 月に 2 ～ 3 回
	5 . 月に 1 回	6 . 雨天時のみ利用	7 . 平日は利用していない	
休日は？ (土・日)	1 . 月に 6 回以上	2 . 月に 4 ～ 5 回	3 . 月に 2 ～ 3 回	
	4 . 月に 1 回	5 . 雨天時のみ利用	6 . 休日は利用していない	

( 2 ) コミュニティバスが運行していなければ、どのような交通手段を利用しますか。  
1つだけ をつけて下さい。

平日は？ (月～金)	1 . 電車	2 . 路線バス	3 . タクシー	4 . 車を自分で運転
	5 . 車で送迎	6 . バイク・原付	7 . 自転車	8 . 徒歩
休日は？ (土・日)	1 . 電車	2 . 路線バス	3 . タクシー	4 . 車を自分で運転
	5 . 車で送迎	6 . バイク・原付	7 . 自転車	8 . 徒歩

( 3 ) コミュニティバスの運行によって、あなたの外出頻度はどのように変化しましたか。  
1つだけ をつけて下さい。

- 1 . 増えた ( 1ヶ月で 回程度 )      2 . 変わらない

【 “ コミュニティバスを利用している方 ” は、問 4 へお進み下さい】

問 3 . “ コミュニティバスを利用していない方 ” にお聞きします。

( 1 ) コミュニティバスの運行をご存知でしたか。どちらかに をつけて下さい。

- 1 . 知っていた      2 . 知らなかった

( 2 ) 今後、コミュニティバスを利用しますか。「 1 . 利用する 」と回答された方は、( 利用頻度 ) と ( 現在の交通手段 ) についてお答え下さい。

- 1 . 利用する      2 . 利用しない 【 問 4 へお進み下さい】

( 利用頻度は？ 1つだけ をつけて下さい。 )

平日は？ (月～金)	1 . ほぼ毎日	2 . 週に 2 ～ 4 回	3 . 週に 1 回	4 . 月に 2 ～ 3 回
	5 . 月に 1 回	6 . 雨天時のみ利用	7 . 平日は利用しない	
休日は？ (土・日)	1 . 月に 6 回以上	2 . 月に 4 ～ 5 回	3 . 月に 2 ～ 3 回	
	4 . 月に 1 回	5 . 雨天時のみ利用	6 . 休日は利用しない	

( 現在の交通手段は？ 1つだけ をつけて下さい。 )

平日は？ (月～金)	1 . 電車	2 . 路線バス	3 . タクシー	4 . 車を自分で運転
	5 . 車で送迎	6 . バイク・原付	7 . 自転車	8 . 徒歩
休日は？ (土・日)	1 . 電車	2 . 路線バス	3 . タクシー	4 . 車を自分で運転
	5 . 車で送迎	6 . バイク・原付	7 . 自転車	8 . 徒歩



市内には、道路が狭い、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことができない交通空白・不便地域があります。

市は、交通空白・不便地域の解消に効果のあるコミュニティバスを、北東部と南部の2ルートで実験運行しています。



**問 4 . 市内において、一部の交通空白・不便地区を対象としてコミュニティバスを運行することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。**

- 1 . 公共交通がない、または不便な地区において市民の足を確保するには必要である  
 2 . 一部の地区を対象とすることは不公平である  
 3 . 分からない      4 . その他 ( )



今年の7月に運行計画を見直したことで利用者が増えました。運行開始からこれまでに約 30 万人の方が利用されています。

18 年度の運行に必要な経費は約 1 億円ですが、運賃収入は約 4 千万円、年間で約 6 千万円の赤字 (税金投入) になると予測されます。



**問 5 . コミュニティバスの運行に税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。**

- 1 . 税金を投入してもよい      2 . 利用者の料金で賄うべきである【 問 7 へ】  
 3 . 分からない      4 . その他 ( )



利用者 1 人にかかる運行経費は 275 円 ~ 340 円で、市は約 6 割を負担しています。

約 6 千万円の税金投入は、20 歳以上の市民が 1 人当たり年間 160 円を負担していることとなります。他の地区で運行する場合も同じ程度の負担が必要になると考えられます。



**問 6 . 20 歳以上の市民 1 人当たりの年間負担額は、どの程度までが適切とお考えですか。1つだけ をつけて下さい。**

- 1 . 100 円未満    2 . 100 円程度    3 . 200 円程度    4 . 300 円程度    5 . 500 円以上  
 6 . 市全体の財政バランスの問題なので、市が判断すべきである  
 7 . その他 ( )



コミュニティバスの料金は、北東部は 150 円、南部は 100 円となっています。

同じ距離を路線バスで移動すると 160 円 ~ 350 円で、コミュニティバスと路線バスの間に料金の差があります。昨年 11 月のアンケート調査では「継続運行のためには値上げしてもやむを得ない」が 56% となっています。



**問 7 . “ コミュニティバスと路線バスの利用者で料金の差があること ” についてどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。**

- 1 . 料金に差があってもよい      2 . 同じ料金とすべきである  
 3 . 分からない      4 . その他 ( )

問 8 . コミュニティバスの料金を路線バス並みの料金に値上げすることについて、どのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . よい                      2 . よくない  
3 . 分からない          4 . その他 (                      )

問 9 . コミュニティバスの料金を以下のように値上げした場合、コミュニティバスを利用しますか。ケースごとに をつけて下さい。

ケース		北東部ルート (現在 150 円)	南部ルート (現在 100 円)
ケース 1	150 円		1 . 利用する    2 . 利用しない
ケース 2	200 円	1 . 利用する    2 . 利用しない	1 . 利用する    2 . 利用しない
ケース 3	路線バスと同様 (対キロ運賃)	1 . 利用する    2 . 利用しない	1 . 利用する    2 . 利用しない



平成 18 年度の運行では、年間で約 6 千万円の税金投入が必要と予測されています。これをどのように考えるかがポイントです。

市では、コミュニティバスを運行することで、車からの乗り換えによる「混雑緩和の効果」や、新たに外出する機会が増えることによる「経済的な効果」などの様々な効果があると考えており、その効果をお金に換算することを検討しています。



問 10 . 「混雑緩和の効果」や「経済的な効果」などをお金に換算し、その金額に相当する税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . よい                      2 . よくない  
3 . 分からない          4 . その他 (                      )



近年、路線バスが撤退する事例が多くなっており、市民の足をどのようにして確保するかが大きな課題となっています。  
市川市コミュニティバスの利用を促進し、継続して運行するには、市民や商工業者がバックアップしていく取り組みも必要と考えられます。

他市では、市民自らが組織を立ち上げて、商工業者やバス会社の協力を得てコミュニティバスを導入したり、実験運行を通じて、市民、行政、バス会社との新たな協働を検討している事例もあります。



問 11 . どのような “コミュニティバスの運営体制” が望ましいとお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

- 1 . これまでのように行政が主体となった運営  
2 . 地元の住民が主体となった運営  
3 . 地元の住民、行政、バス会社の協働による運営  
4 . 分からない          5 . その他 (                      )

問 12 . コミュニティバスの運行への協力についてお聞きします。

( 1 ) あなたはコミュニティバスの運行への協力ができますか。できるとすれば、その内容にいくつでも をつけて下さい。

1 . 協力する	2 . 協力しない【 問 13 へ】
a . コミュニティバスを積極的に利用することで協力したい b . 協賛金制度があれば、協力したい c . コミュニティバスの普及に協力したい ( 知人への紹介など ) d . ボランティア活動に協力したい ( イベント企画、一日車掌など ) e . その他 ( )	

( 2 ) ( 1 ) で b に をつけた方にお聞きします。年間の 1 人当たりの金額が、どの程度であれば協力できますか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 3,000 円未満	2 . 5,000 円程度	3 . 1 万円程度	4 . その他 ( )
---------------	---------------	------------	-------------

問 13 . 市川市コミュニティバスの実験運行は平成 19 年 3 月末までの予定ですが、4 月以降どのようにすべきとお考えですか。1 つだけ をつけて下さい。

1 . 本格運行すべきである	2 . 実験運行として継続すべきである	3 . 運行を取り止めるべきである	4 . 分からない	5 . その他 ( )
----------------	---------------------	-------------------	-----------	-------------

【最後に、あなたの事についてお聞きします。】

問 14 . 性別は。	1 . 男	2 . 女					
問 15 . 年齢は。	1 . 10 代	2 . 20 代	3 . 30 代	4 . 40 代	5 . 50 代	6 . 60 代	7 . 70 代 ~
問 16 . 住所は。	( 町 丁目 )						
問 17 . 就業・就学の状況は。	1 . 有職	2 . 主婦 ( パートを含む )	3 . 大学生 ( 短大生、専門学校生、予備校生を含む )	4 . 無職	5 . その他 ( )		
問 18 . 自動車の利用状況は。	1 . 自分で自由に使える自動車がある 2 . 必要に応じて家族が送迎してくれる 3 . 利用できる自動車はない						
問 19 . 自宅から最寄りのコミュニティバスのバス停は。	バス停番号または名称		同封のパスルート図をご覧ください				
問 20 . そのバス停までの自宅からの距離は。	( 番号 : )		、名称 ( )				
	1 . 50m 以内	2 . 100m 以内	3 . 200m 以内	4 . 200m 以上			

自由意見記入欄：

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
恐れ入りますが、同封の封筒に入れて、ご投函下さい。

【市川市 道路交通部 交通計画課 電話 047 334 1453 ( 直通 )】

## 市川市コミュニティバスに関するアンケート調査 【ルート沿線以外の居住者用】

最初に、本市におけるコミュニティバスの取り組み経緯を紹介します。



市内には、既存のバス停や鉄道駅などから遠い、いわゆる交通不便地域が少なからずあります。このような交通不便地域であっても、道路が狭い、坂がある、また、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことのできない地域があります。

市では、これからの高齢社会を迎えるにあたり公共交通機関の持つ役割はますます重要になっていくと考え、住宅地と公共公益施設、医療施設、商店街、鉄道駅やバス停などを結び交通不便地域を解消するコミュニティバスの運行を検討してきました。

実際にバスを運行してみなければ分からないことも多いことから、アンケート調査等で市内を相対的に比較し、バスサービスの水準が低い北東部と南部で実際にコミュニティバスを運行する社会実験を実施しています。

このアンケートはコミュニティバスが運行していない地域の方のご意見を伺うために実施しています。



問 1 . 平成 17 年 10 月より、北東部と南部でコミュニティバスが運行を開始したことをご存知でしたか。どちらかに をつけてください。

- 1 . 知っていた      2 . 知らなかった

問 2 . コミュニティバスを利用したことがありますか。1 つだけ をつけて下さい。

- 1 . 北東部と南部のコミュニティバスを、どちらも利用したことがある  
2 . 北東部のコミュニティバスを利用したことがある  
3 . 南部のコミュニティバスを利用したことがある  
4 . どちらも利用したことがない

問 3 . コミュニティバスについてお聞きします。

( 1 ) コミュニティバスの施策をどのように考えていますか。1 つだけ をつけて下さい。

- 1 . 非常によい施策だと思う  
2 . よい施策だと思う  
3 . あまりよい施策だとは思わない  
4 . 分からない      5 . その他 ( )

( 2 ) あなたの地域にコミュニティバスを導入していくことを、どのように考えていますか。1 つだけ をつけて下さい。

- 1 . 導入して欲しい  
2 . 導入しなくてもよい  
3 . 分からない      4 . その他 ( )



市内には、道路が狭い、利用者が少ない等の理由で、バスを通すことができない交通空白・不便地域があります。

市は、交通空白・不便地域の解消に効果のあるコミュニティバスを、北東部と南部の2ルートで実験運行しています。



問4. 市内において、一部の交通空白・不便地区を対象としてコミュニティバスを運行することをどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. 公共交通がない、または不便な地区において市民の足を確保するには必要である  
 2. 一部の地区を対象とすることは不公平である  
 3. 分からない      4. その他 ( )



今年の7月に運行計画を見直したことで利用者が増えました。運行開始からこれまでに約30万人の方が利用されています。

18年度の運行に必要な経費は約1億円ですが、運賃収入は約4千万円、年間で約6千万円の赤字(税金投入)になると予測されます。



問5. コミュニティバスの運行に税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. 税金を投入してもよい      2. 利用者の料金で賄うべきである【問7へ】  
 3. 分からない      4. その他 ( )



利用者1人にかかる運行経費は275円～340円で、市は約6割を負担しています。

約6千万円の税金投入は、20歳以上の市民が1人当たり年間160円を負担していることとなります。他の地区で運行する場合も同じ程度の負担が必要になると考えられます。



問6. 20歳以上の市民1人当たりの年間負担額は、どの程度までが適切とお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. 100円未満    2. 100円程度    3. 200円程度    4. 300円程度    5. 500円以上  
 6. 市全体の財政バランスの問題なので、市が判断すべきである  
 7. その他 ( )



コミュニティバスの料金は、北東部は150円、南部は100円となっています。

同じ距離を路線バスで移動すると160円～350円で、コミュニティバスと路線バスの間に料金の差があります。昨年11月のアンケート調査では「継続運行のためには値上げしてもやむを得ない」が56%となっています。



問7. “コミュニティバスと路線バスの利用者で料金の差があること”についてどのようにお考えですか。1つだけをつけて下さい。

1. 料金に差があってもよい    2. 同じ料金とすべきである  
 3. 分からない    4. その他 ( )




問8. コミュニティバスの料金を路線バス並みの料金に値上げすることについて、どのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。


1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他 ( )

問9. コミュニティバスの料金を以下のように値上げした場合、コミュニティバスを利用しますか。ケースごとに をつけて下さい。

ケース		北東部ルート (現在 150 円)	南部ルート (現在 100 円)
ケース 1	150 円		1. 利用する 2. 利用しない
ケース 2	200 円	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない
ケース 3	路線バスと同様 (対キロ運賃)	1. 利用する 2. 利用しない	1. 利用する 2. 利用しない




平成 18 年度の運行では、年間で約 6 千万円の税金投入が必要と予測されています。これをどのように考えるかがポイントです。




市では、コミュニティバスを運行することで、車からの乗り換えによる「混雑緩和の効果」や、新たに外出する機会が増えることによる「経済的な効果」などの様々な効果があると考えており、その効果をお金に換算することを検討しています。

問 10. 「混雑緩和の効果」や「経済的な効果」などをお金に換算し、その金額に相当する税金を投入することをどのようにお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. よい	2. よくない
3. 分からない	4. その他 ( )



近年、路線バスが撤退する事例が多くなっており、市民の足をどのようにして確保するかが大きな課題となっています。  
市川市コミュニティバスの利用を促進し、継続して運行するには、市民や商工業者がバックアップしていく取り組みも必要と考えられます。



他市では、市民自らが組織を立ち上げて、商工業者やバス会社の協力を得てコミュニティバスを導入したり、実験運行を通じて、市民、行政、バス会社との新たな協働を検討している事例もあります。

問 11. どのような“コミュニティバスの運営体制”が望ましいとお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. これまでのように行政が主体となった運営
2. 地元の住民が主体となった運営
3. 地元の住民、行政、バス会社の協働による運営
4. 分からない 5. その他 ( )

問 12. コミュニティバスの運行への協力についてお聞きします。

(1) あなたはコミュニティバスの運行への協力ができますか。できるとすれば、その内容にいくつでも をつけて下さい。

1. 協力する	2. 協力しない【問 13 へ】
a. コミュニティバスを積極的に利用することで協力したい b. 協賛金制度があれば、協力したい c. コミュニティバスの普及に協力したい(知人への紹介など) d. ボランティア活動に協力したい(イベント企画、一日車掌など) e. その他( )	

(2) (1) で b に をつけた方にお聞きします。年間の1人当たりの金額が、どの程度であれば協力できますか。1つだけ をつけて下さい。

1. 3,000 円未満	2. 5,000 円程度	3. 1万円程度	4. その他( )
--------------	--------------	----------	-----------

問 13. 市川市コミュニティバスの実験運行は平成 19 年3月末までの予定ですが、4月以降どのようにすべきとお考えですか。1つだけ をつけて下さい。

1. 本格運行すべきである	2. 実験運行として継続すべきである	3. 運行を取り止めるべきである	4. 分からない	5. その他( )
---------------	--------------------	------------------	----------	-----------

【最後に、あなたの事についてお聞きします。】

問 14. 性別は。	1. 男	2. 女					
問 15. 年齢は。	1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代~
問 16. 住所は。	( 町 丁目 )						
問 17. 就業・就学の状況は。	1. 有職	2. 主婦(パートを含む)	3. 大学生(短大生、専門学校生、予備校生を含む)	4. 無職	5. その他( )		
問 18. 自動車の利用状況は。	1. 自分で自由に使える自動車がある 2. 必要に応じて家族が送迎してくれる 3. 利用できる自動車はない						
問 19. 自宅から最寄りの路線バスのバス停は。	(バス停の名称: )						
問 20. そのバス停までの自宅からの距離は。	1. 50m以内	2. 100m以内	3. 200m以内	4. 200m以上			

自由意見記入欄:

.....

.....

.....

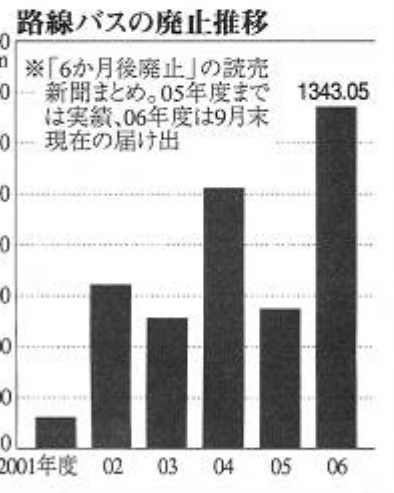
アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
 恐れ入りますが、同封の封筒に入れて、ご投函下さい。

【市川市 道路交通部 交通計画課 電話 047 334 1453 (直通)】

### 過疎地の足担い手は

過疎地を中心に路線バスが廃止が相次いでいる。利用者は減り続け、規制緩和と廃止手続きが簡素化されたことろに、昨年来の原油高騰が拍車をかけた。自治体は「コミュニティバス」と呼ばれる方式で「地域の足」の確保を模索し、柔軟な運賃設定など住民主導型のバスを導入しやすくなるよう、10月から法も整備された。地域を走るバスの姿が変わりつつある。

(地方部 仲川高志、鹿児島支局 木野千尋)



# 路線バス廃止急増

### バス政策見直す好機

喜多秀行・神戸大学教授(交通システム工学)の話「道路運送法の規制緩和は「地域の足」を担い手として確保する」ということ。自治体は生活交通サービスの主体として責任を負う一方、地域の実情に合った運営、運行形式を選ぶことができるようになった。バス政策を見直すいい機会だ。ただし、国や都道府県が責任を放棄していいわけではない。それぞれがどんな役割を果たせるか、議論を深めていく必要がある」



栗石町がNPOに委託して運営している「あなっこバス」。バスとタクシーの中間のような柔軟性が売りだ

## 赤字148系統バスサリ

鹿児島 燃料費高騰がダメ押し

### 撤退

今年5月、鹿児島にバスショックが走った。県全域に路線網を持つ計305系統(路線を構成する個別運行ルート)を11月で廃止すると、鹿児島運輸支局に届け出た。奄美大島を除く県内全路線の約20%にあたる。

### 新生

「診察終わったらら」で待ってる。置いてたりしなから」

岩手県栗石町の病院前で腰の曲がったお年寄りを降ろし、声をかけるのは「あなっこバス」だ。

## 柔軟・軽快 9人乗り

岩手 ダイヤ・停留所要望反映

貸し切りが免許制から許可制に緩和され、レンタカー業者などの参入で競争が激化し、グループ5社の年間赤字は9億円に。幹部は「ここに来て燃料代がね上がったのが、ダメ押しになった」と訴える。

市町村は県とも協議し、県が補助する代替バスや自治体が行うバスなど157系統は存続することになったが、148系統はあす8日で廃止される。

「診察終わったらら」で待ってる。置いてたりしなから」

岩手県栗石町の病院前で腰の曲がったお年寄りを降ろし、声をかけるのは「あなっこバス」だ。

ねっこバス」の野口博文運転手(56)だ。車は9人乗りのワンボックス。バスとタクシーの中間のような柔軟さが特徴で、住民の要望(ダイヤ・停留所)に応じて「デマンド方式」と呼ばれる。路線バスの代替として注目が集まっている。

町の委託を受けたNPO法人が運営。バスは始発時刻の30分前までに電話予約のあった停留所を最短ルートで回り、距離を節約。だれも予約しなければ、運休する。中学生以上の料金は一律200円だ。運行は地元タクシー会社が請け負い、町の支出は年間約3150万円に抑えることができた。集落をきめ細かく走り、平日利用は1日平均177人に増えた。

今年4月に「バス10番」を仲間と開設した元田教授は、「過疎地からのバス撤退が加速し、公共交通の担い手として自治体の役割はますます大きくなる。ノウハウを蓄積し、自治体の力になりたい」と話す。

一定の経路を時刻表に従って運行する乗り合い自動車。一般には近隣地域内の通勤通学などに使われるバスを指す。高

バス	概要
宮城交通グループの8社	2006年度中の計76系統の廃止を決め、うち53系統はコミュニティバスなどに切り替え
福島交通	12系統を9月末で廃止。予定32系統のうち、20系統は補助金などで存続
津乗合自動車	5系統が05年11月末、3系統が06年3月末、36系統が9月末で廃止。一部はデマンドバスなどに切り替え
茨城交通など5社	06年に入り、計28系統が廃止。一部はコミュニティバスなどに切り替え
横浜市営バス	06年度中に57区間廃止の意向表明。県などと存廃を検討中
長崎県営バス	10区間を07年3月末に廃止するとの届け出。一部は他社が継承
宮崎交通	8系統を07年3月末に廃止するとの届け出。補助金による存続など検討

※区間は系統の中の一部

最近の主な路線バス廃止の動き

宮城 宮城交通グループの8社

福島 福島交通

津乗合自動車

茨城 茨城交通など5社

横浜 横浜市営バス

長崎 長崎県営バス

宮崎 宮崎交通

その4割は、1987年に国鉄大隅線が廃止され、公共交通をバスに頼る大隅半島を走る。バスを乗り継ぎ、30分かけて通勤する志布志市の福島良子さん(54)がバス停のための愚案をつく。「目が悪くて車の運転はできない。仕事にも病院にも行けなくなる」

バス事業は2000年の貸し切りバス参入緩和に続き、02年の道路運送法改正で路線廃止が許可制から届け出制となった。

地元と調整が順調であれば30日後、存続要望の強い生活に密着した路線などで取り下げ)。

も届け出から6か月後には廃止できることになった。この「6か月後廃止」の届け出は最近、宮城や長崎などで相次ぎ、06年度は9月末現在で計3000を超えている。一部はその後、廃止

高速バスや定期観光バスを含めた乗り合いバスの輸送は、68年度の年間101億人をピークに04年度は43億人に半減した。日本バス協会によると、運行経費に占める燃料費は01年度の5.3%から05年度は7.7%

高速バスや定期観光バスを含めた乗り合いバスの輸送は、68年度の年間101億人をピークに04年度は43億人に半減した。日本バス協会によると、運行経費に占める燃料費は01年度の5.3%から05年度は7.7%

「あなっこバス」は70年代に登場したとされ、05年4月時点で914市区町村で運行。今回の改正を機に早急な交通機関再編案を住民らに説明する会議を開く自治体が現れるなど、さらに広がりをみせそうだ。

一定の経路を時刻表に従って運行する乗り合い自動車。一般には近隣地域内の通勤通学などに使われるバスを指す。高

### 成功例に学ぼう

不採算を理由にしたバス会社の撤退を契機に、身の丈に合い、集客策を凝らした代替バスを運営し、成功を収める自治体が出てきた。これは、従来の運行形態がいかに硬直化していたかという証拠とも言えないだろうか。

「平成の大合併」や10月の法改正は、地域交通を見直す好機といえる。バス会社も過疎地の経費負担増などを言い訳にするばかりでなく、コミュニティバスなどの成功例からノウハウを学び、サービス向上を工夫してみるべきだ。(仲川)

路線バス \* 一定の経路を時刻表に従って運行する乗り合い自動車。一般には近隣地域内の通勤通学などに使われるバスを指す。高

# 広がるコミュニティバス

通勤、通学や通院、買い物など地域住民の生活の足として重要な役割を果たしているバス。いま、過疎地を中心に路線バスの廃止が相次ぐ一方、少子高齢化や都市構造の変化に対応しようと、地域を走るバスの姿に変化が生じてきている。10月からは、コミュニティバスや乗合タクシーなど新しい輸送サービスの普及を促進する改正道路運送法が施行され、柔軟な運賃設定や路線の新設・変更などバス事業者の創意工夫で多様なサービスを提供できる環境も整ってきている。「観光の足」としてコミュニティバスを活用した台東区

## 観光の足としても活躍

◇ 東京・台東区の循環バス「めぐりん」◇  
乗客数は年間100万人超へ 一日乗車券で乗り放題

JR上野駅西側の公園口改札を出て、徒歩1分。動物園や美術館などの文化施設が集積する上野公園前のバス停で待つと、レトロ調で小ぶりの車体がやってくる。今年4月末に、3番目の路線として運行を開始した「東西めぐりん」だ。



▲「めぐりん」の乗継券  
▶ 浅草駅バス停で循環バス「めぐりん」に乗り込む利用客(5日 東京・台東区)



内外から家族連れや多くの観光客が訪れる歴史と芸術文化の街、東京・台東区。11月5日、その「観光の足」として活躍する区内循環バス「めぐりん」に試乗した。

「交通不便地域の解消」を目的に2001年に「北」「南」の2路線で運行を開始したが、この「東西」路線は、上野駅をはさんで「東」「西」の2方向の発着地を人気観光スポットの多い浅草と、「西」は下町情緒ある街並みが残る谷中地区

とを結ぶ、一周約75分のルートを設定。「区外から訪れる人たちに、低料金で気軽に観光巡りを楽しんでもらいたい」という側面もある。(区道路交通課)という。

バスが出発。走行音は比較的静か。車幅が狭い分、違法駐車があっても走行は

スムーズだ。バスは駅東側へ渡って、かつて橋本通りを抜け、雷門前を経由し、東武鉄道「浅草駅」前へと向かう。

同乗した40代夫婦のお目当ては「浅草」。「1ついでに、樋口二葉の記念館も新

「めぐりん」は、区内4カ所に設けられた乗り継ぎ地点で、各路線相互に無料で乗り継ぎできるのも特長(各路線ごと1回のみ)。例えば「東西」路線で「浅草駅」へ来て「東武記念館」方面に向かう「北」路線に乗り継ぐ場合、降車前に乗客にまで乗継券の利用法を

徹底するのは困難だろうが、各停留所に「一日乗車券」の説明書きを掲示する程度はできるのでは……。

10月28日現在、3路線化後の1日の平均乗客数は計3457人。同課では「乗客数が年間100万人を超えるのは確実。北路線では「既存タクシーを乗合方式で活用すれば、利用者を自宅の玄関から目的地の入り口まで、低料金で送り届けられる」という奥山修司・福島大学教授の発案を受け、国土交通省が主体となって、01年に乗り合いのデマンドタクシーを導入した。



武蔵野市の「ムーバス」。乗降口には電動補助ステップも



路線バス廃止後、住民の足として定着した福岡県南相馬市小高区のデマンド型「おたかeーまちタクシー」

## 導入進む「デマンド型」

過疎地などで予約受け運行 自治体、住民主導と多様

コミュニティバスは一般的に、自治体などが主体となって住民の移動手段を確保するために運行するバスのことをいう。

代表的なのが、東京都武蔵野市が1995年に運行を始めた「ムーバス」。バ

ス交通の空白・不便地域の解消や吉祥寺駅周辺の渋滞を一周する循環システムによる運行(バス停の間の短縮)が住民の要望に応じて詳細な調査を実施した上で企画し、1000円均一な運賃の一律化の狭い道路も運行可能な中・小型バス

の使用が定められたルートを一週する循環システムによる運行(バス停の間の短縮)が住民の要望に応じて詳細な調査を実施した上で企画し、1000円均一な運賃の一律化の狭い道路も運行可能な中・小型バス

現在5路線7ルートで運行し、1日平均7000人が利用。来春には、隣接の三鷹市を経由する路線も含め、路線を新設、「バス交通の空白・不便地域がほぼ解消され、1段階ずつ(市交通対策課)という。

こうした自治体主導でなく、地域住民が主導している事例もある。

国土交通省の調査によると、こうしたコミュニティバスや乗合タクシーは05年10月時点で、全市町村の約38%に当たる914市区町村で運行されているが、なかには、成功事例をそっくりまねて、輸送形態や路線の設定、運行間隔、運賃、車両などが地域の実情を十分反映したものになっただけに、導入に当たっては利用者ニーズの把握など事前の十分な準備が重要だ。